

避難者通信第 159 号 「科学と人権に基づく被曝評価体系の確立」

皆々様

お元気でいらっしゃいますか？BCCで失礼いたします。

原発事故 14 周年を過ぎましたが、事故を人権と科学の視点で評価することがとても大事です。

今、「科学と人権に基づく被曝評価体系の確立」を（仮称）放射線リスク日本委員会の設立によって達成しようとする動きをようやく現実の物と致しました。この 5 月に「放射線リスク日本委員会」の設立準備会を立ち上げようと致します。お力をください。

第 67 回つなごう命の会定例学習会のお知らせ

5 月 10 日土曜日の午前 10 ; 30 ~ やります。

お気軽にご参加ください。

原発事故 14 年 <いよいよ>（仮称）「放射線リスク日本委員会」準備会の会員ご参加を募ります>

—科学と人権に立脚した被曝評価体系の確立を！—

日時

2025 年 5 月 10 日(土) 午前 10 時半からおよそ 2 時間

(1) 会場

那覇市民活動支援センター 3 階 第 8 会議室

(2) ズーム参加

ZOOM URL パスワード等

<https://us04web.zoom.us/j/7718813361?pwd=>

ミーティング ID: 771 881 3361

パスコード: D8R2Lt

参加予定の方は事前に<yagasaki888@[gmail.com](mailto:yagasaki888@gmail.com)>までご連絡ください。

(Aを@にご変更ください)

参加費無料です

原発事故の人権に基づく最重要総括

- ① 政府が法を無視して東電福島原発事故に対処しました。チェルノブイリ周辺国がチェルノブイリ原発事故に際して対処した「基本的人権に基づき、住民を被曝から防護する」(チェルノブイリ法) というそのやり方に真っ向から反対の「住民を高汚染地域に住み続けさせる」方針を日本では貫徹しました。諸事情の違いはありますが、日本では日本国の法律に反する基本的人権が無視される事が行われました。
- ② それは原子力災害特措法、炉規法等々の日本の確立している法律に反して、法を適用せず、逆に、国際原子力ロビー指針に追随して、改悪して対処するというおぞましい措置が講じられました。
- ③ その結果「法治主義を放棄」するという近代民主主義の根幹をなす、国家がその主権者を守るメカニズムが崩壊し、あらゆる面で棄民が進められました。
- ④ 多くの住民の抵抗がありましたが、被曝から住民を守ることに関する「法治主義の放棄」は走り続けて今に至っています。
- ⑤ これは平和憲法が1947年5月3日に施行されて以来、1950年朝鮮戦争に際しての日本の再軍備化にアメリカが方針を変え、「警察予備隊」(保安隊を経て自衛隊)が組織され、1954年のサンフランシスコ条約と日米安保条約が日本の尊厳と主権を放棄する内容で締結され、歴代の日本国政府が憲法の実質的内容を破壊しながら、改憲を模索してきたにも拘わらず、今もなお、日本国憲法として守り続けられてきた歴史とは大きく異なるものです。
- ⑥ 1965年に設立された「憲法会議」が「平和的・民主的条項の完全実施」を求め、2004年に設立された「九条の会」が、「憲法を現実近づけるのではなく、現実を憲法に近づける努力をしなければならない」と訴えたのは、人類の英知として誕生したまさに規範となる「日本国憲法」が存在したからです。主権者と位置づけられた住民が主権者としての英知を運動として実行してきたのです。
- ⑦ 放射線被曝体系には規範となる基本的人権に基づいた科学的な評価体系がないのです。
- ⑧ 放射線被曝分野でいとも簡単に「法治主義の放棄」が行われた一因には、「知られざる核戦争」の存在があります。米軍による原爆投下以来「爆心地周辺には内部被曝の原因である放射性降下物は存在しない」という、「化学兵器や生物兵器と異なり原爆は破壊力が大きいだけだ」という虚偽情報操作が強力に進められ、その維持体制(国際原子力ロビー)が戦後支配的

に「知られざる核戦争」を行って来たからです。日本の重要法律の「被爆者援護法」から「内部被曝」が排除されたのです。

「知られざる核戦争」は内部被曝の隠蔽を徹底して行い、主として

〈1〉放射線被曝リスクの隠蔽、

〈2〉被曝リスクを極端に過小評価に導く非科学的・非人権的評価体制の施行、

に集中されています。

⑨ 私たちは国際放射線防護委員会（ICRP）の被曝評価体系の非科学的／非人権的欠陥を正確に解明し、「科学と人権に立脚する被曝評価体系」の確立をしたいと思います。

⑩ 権力に忖度しない「科学と人権に基づく被曝評価体系」は人類にとって必須です。

どうぞ皆様、基本的人権を守ることができる被曝評価体系の確立にお力をください。

定例学習会では「科学と人権に基づく被曝評価体系」の向けてのご説明を致します。

ご気楽にご参加ください。

矢ヶ崎克馬 4月14日